

はじめに

鎌倉市図書館では、年度ごとに図書館で実施した事業を、この「鎌倉市の図書館」にまとめています。平成28年度の「鎌倉市の図書館」ができましたので、ご覧ください。

今、子どもたちが生活している場には、テレビやインターネットなどの様々な情報があふれています。年齢が上がるにつれて子どもたちの読書離れは、強まる傾向にあります。毎年行われている調査によると、読書時間が「0分」の大学生が5割になったという報道（平成29年2月）がありました。こうした中、鎌倉市では、平成29年度、第3次子ども読書活動推進計画の策定作業に入りました。様々な活動を通して、子どもたちが求める時に本や情報に触れることのできる環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。

さて、鎌倉市図書館協議会では、鎌倉市図書館の運営について、図書館業務の効率化とサービス向上の観点から協議し、平成28年11月9日に答申を出しました。図書館として平成29年度は、この答申を受け、平成29年6月1日から8月31日にかけて、玉縄図書館では、非常勤嘱託員を中心とした体制について、大船図書館では、開館時間の延長の試行を行っていました。背景としては、少子高齢化から、自治体が使える予算、人材も限られてきており、いかに効率的に予算を使い、効果的にサービスを提供していくか自治体の知恵が試されおり、図書館も例外ではないという点にあります。その効果的なサービスの1つとして今年の3月1日から横浜市との図書館相互利用を開始しました。鎌倉市民が、横浜にある18の図書館の本をその場で借りることができるようになりました。横浜市の蔵書数は約400万冊ですので、鎌倉市民が様々な資料に接する機会が増えたこととなります。鎌倉市は、これまで藤沢市、横須賀市、逗子市、葉山町、三浦市と相互利用を行ってきました。横浜市との相互利用が開始されたことにより、鎌倉市の周辺自治体とはすべて相互利用が可能になりました。みなさまの身近にある図書館をご活用いただければと思います。

この「鎌倉市の図書館」が、図書館活動を評価し、図書館をより使いこなしていただくための資料として多くの方にご活用いただければ幸いです。また、ご意見・ご要望もお待ちしています。そして、この「鎌倉市の図書館」が、図書館に足を運んでいただく一助となることを願っています。今後も市民の皆様に利用しやすい図書館を目指していきたいと考えています。引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

2017年12月10日